

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ADEKA

コード番号 4401 URL <http://www.adeka.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 櫻井 邦彦

問合せ先責任者 (役職名) 法務・広報部長

(氏名) 安田 晋

TEL 03-4455-2803

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	127,760	△4.3	6,578	△42.8	6,248	△43.5	2,508	△59.3
23年3月期第3四半期	133,516	11.8	11,511	49.8	11,065	50.9	6,160	32.4

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 1,947百万円 (△64.0%) 23年3月期第3四半期 5,404百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	24.28	—
23年3月期第3四半期	59.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	207,883	126,396	59.3
23年3月期	207,779	126,784	59.5

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 123,174百万円 23年3月期 123,555百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	11.00	—	11.00	22.00
24年3月期	—	11.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	11.00	22.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	172,000	△3.5	8,500	△41.7	8,000	△44.3	3,000	△56.7	29.04

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	103,651,442 株	23年3月期	103,651,442 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	362,749 株	23年3月期	362,599 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	103,288,757 株	23年3月期3Q	103,289,747 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日から同年12月31日まで）における世界経済は、欧州の債務問題や米国での失業率の高止まり、中国の金融引き締めなどにより景気減速懸念が強まりました。国内においては、東日本大震災の影響から持ち直しつつありますが、海外経済の成長鈍化や長期化する円高の影響などにより総じて厳しい状況で推移しました。

当社グループ事業の主要対象分野におきましては、自動車関連分野は需要が回復してきましたが、東日本大震災による落ち込みを補うには至りませんでした。IT・デジタル家電関連分野では、液晶パネルメーカー各社が大幅な減産を実施し、過剰在庫の解消が進んだものの依然として需要は低調でした。加工油脂分野では、生産量は前年同期並みでしたが、原材料価格が高い水準にあるなど厳しい事業環境が続きました。

このような中、当社グループにおきましては、成長戦略で掲げている「新製品の創出」と「海外事業の拡大」を強力に推し進め、持続的成長に向けた諸施策を講じるとともに、震災の影響を大きく受けた業績を回復するべく、被災した工場の早期復旧を果たし、販売数量の拡大、生産の効率化、コスト削減などに努めてまいりました。しかしながら、足元の世界経済の後退懸念などを背景に、需要回復に力強さがなく厳しい業績となりました。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は1,277億60百万円（前年同期比4.3%減）、営業利益は65億78百万円（同42.8%減）、経常利益は62億48百万円（同43.5%減）、四半期純利益は、投資有価証券評価損、鹿島コンビナートにおける合弁撤退関連損失などの特別損失の計上および税制改正の影響による繰延税金資産の一部取り崩しなどにより25億8百万円（同59.3%減）となりました。

報告セグメント別の概況は、次のとおりです。

(化学品事業)

当事業の売上高は、880億97百万円（前年同期比4.4%減）、営業利益は62億58百万円（同33.0%減）となりました。

①情報・電子化学品

半導体材料は、スマートフォンやタブレット端末の普及に伴い、省電力設計の最先端半導体メモリなどで使用される高誘電材料が、為替の影響を受けたものの大きく伸長しました。液晶パネル関連では、光硬化樹脂が液晶テレビの市場が低迷するなかでも用途拡大により伸長しましたが、超微細回路形成用エッチング薬液や高純度ガスなどは顧客の生産調整の影響を大きく受け低調でした。情報・電子化学品全体では、前年同期に比べ増収ではありましたが、わずかながら減益となりました。

②機能化学品

樹脂添加剤は、汎用用途で使用される可塑剤や安定剤などは自動車生産の回復などに伴い伸長しましたが、光安定剤などの高機能添加剤は欧州経済の停滞を背景とした顧客の在庫調整などの影響を大きく受け低調でした。界面活性剤は、塗料や化粧品向けなど競争力の高い製品が伸長しましたが、工業用洗浄剤向けなどが低調でした。潤滑剤は、津波被害による生産停止の影響をBCMS（事業継続マネジメントシステム）の取り組みにより最小限に抑え、販売数量の回復を図りましたが低調な推移となりました。エポキシ樹脂や環境対応の水系樹脂は、円高や顧客の稼働率低下の影響を受け低調でした。機能化学品全体では、原材料価格高騰の影響もあり前年同期に比べ減収減益となりました。

③基礎化学品

プロピレングリコール類はトイレタリー向けなどに堅調でしたが、過酸化水素およびその誘導品は、震災時の計画停電で生産停止した影響が続き低調でした。基礎化学品全体では、原材料価格高騰の影響もあり前年同期に比べ減収減益となりました。

(食品事業)

当事業の売上高は、363億75百万円（前年同期比5.5%減）、営業損失は1億9百万円（同19億89百万円減）となりました。

主力工場が被災したことで落ち込んだ販売数量は「バター風味豊かなマーガリン」などの特徴ある製品を中心に概ね回復することができ、当第3四半期連結会計期間（10月～12月）では営業黒字となりました。しかしながら、震災で製造停止していた期間の販売減少と原材料価格の高止まりなどの影響を受け、前年同期に比べ減収減益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1億3百万円増加（前期比0.0%増）し、2,078億83百万円となりました。現金及び預金および投資有価証券の減少を上回る売上債権およびたな卸資産の増加が主な要因であります。

負債は前連結会計年度末に比べ4億91百万円増加（同0.6%増）し、814億87百万円となりました。未払法人税等および各引当金の減少を上回る仕入債務および短期借入金の増加が主な要因であります。

純資産は前連結会計年度末に比べ3億88百万円減少（同0.3%減）し、1,263億96百万円となりました。その他有価証券評価差額金の減少が主な要因であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年6月17日に公表いたしました通期連結業績予想を下表のとおり修正しております。

詳細につきましては、本日（平成24年2月7日）別途公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

[平成24年3月期の通期連結業績予想]

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	180,000	11,200	11,100	6,300
今回修正予想 (B)	172,000	8,500	8,000	3,000
増減額 (B-A)	△8,000	△2,700	△3,100	△3,300
増減率 (%)	△4.4	△24.1	△27.9	△52.4
(ご参考) 前期実績 (平成23年3月期)	178,198	14,581	14,374	6,921

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,163	20,626
受取手形及び売掛金	38,581	41,540
有価証券	9,627	9,128
商品及び製品	12,169	14,823
仕掛品	3,261	4,106
原材料及び貯蔵品	13,026	13,342
その他	5,234	6,102
貸倒引当金	△217	△207
流動資産合計	106,847	109,461
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	21,244	20,149
土地	20,562	20,409
その他(純額)	26,241	27,024
有形固定資産合計	68,049	67,583
無形固定資産	3,533	3,216
投資その他の資産		
投資有価証券	23,102	21,705
その他	6,246	5,917
投資その他の資産合計	29,349	27,622
固定資産合計	100,932	98,421
資産合計	207,779	207,883

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,334	34,453
短期借入金	11,472	13,539
未払法人税等	2,418	617
賞与引当金	2,009	984
その他の引当金	1,537	296
その他	5,103	10,235
流動負債合計	53,876	60,125
固定負債		
長期借入金	10,529	4,819
退職給付引当金	8,526	8,929
その他の引当金	168	110
その他	7,894	7,502
固定負債合計	27,118	21,361
負債合計	80,995	81,487
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,899	22,899
資本剰余金	19,925	19,925
利益剰余金	78,647	78,936
自己株式	△224	△224
株主資本合計	121,248	121,537
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,001	340
土地再評価差額金	3,270	3,791
為替換算調整勘定	△1,964	△2,495
その他の包括利益累計額合計	2,307	1,636
少数株主持分	3,228	3,222
純資産合計	126,784	126,396
負債純資産合計	207,779	207,883

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	133,516	127,760
売上原価	101,211	100,787
売上総利益	32,304	26,972
販売費及び一般管理費	20,793	20,393
営業利益	11,511	6,578
営業外収益		
受取利息	70	77
受取配当金	219	252
持分法による投資利益	118	—
その他	169	296
営業外収益合計	577	626
営業外費用		
支払利息	292	279
為替差損	428	200
持分法による投資損失	—	184
その他	302	291
営業外費用合計	1,023	957
経常利益	11,065	6,248
特別損失		
有形固定資産除却損	227	317
投資有価証券評価損	553	434
災害による損失	—	335
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	101	—
合弁撤退関連損失	—	610
特別損失合計	882	1,697
税金等調整前四半期純利益	10,182	4,551
法人税、住民税及び事業税	3,488	1,127
法人税等調整額	313	736
法人税等合計	3,801	1,863
少数株主損益調整前四半期純利益	6,381	2,687
少数株主利益	220	179
四半期純利益	6,160	2,508

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,381	2,687
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△255	△616
土地再評価差額金	—	578
為替換算調整勘定	△723	△657
持分法適用会社に対する持分相当額	2	△43
その他の包括利益合計	△976	△739
四半期包括利益	5,404	1,947
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,348	1,895
少数株主に係る四半期包括利益	55	52

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	化学品	食品	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	92,160	38,485	130,645	2,870	133,516	—	133,516
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	171	45	217	8,060	8,277	(8,277)	—
計	92,332	38,530	130,862	10,931	141,794	(8,277)	133,516
セグメント利益	9,343	1,880	11,224	234	11,458	53	11,511

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事および工事管理、物流業、不動産業などを含んでおります。

2 セグメント利益の調整額53百万円は、セグメント間取引消去額を含んでおります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	化学品	食品	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	88,097	36,375	124,472	3,287	127,760	—	127,760
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	369	47	416	7,601	8,018	(8,018)	—
計	88,466	36,422	124,889	10,889	135,778	(8,018)	127,760
セグメント利益 (損失)	6,258	(109)	6,149	375	6,525	53	6,578

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事および工事管理、物流業、不動産業などを含んでおります。

2 セグメント利益の調整額53百万円は、セグメント間取引消去額を含んでおります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。